

知りたい!

私たちのまちのがんデータ —がん登録の役割—

J-CIP 委員

伊藤ゆり
片山佳代子
田淵健



東京都在住、在勤の有志の患者、医療関係者が集い、東京都のがん医療をよりよいものとし、「がんになっても安心して暮らせる東京」を目指した交流と学習の場であるがんネットワーク東京さんの第1回公開講座をJ-CIPで主催させていただきました。

2022年7月31日(日)午後2～4時に東京都のがん対策に関心や興味のある方を対象に、Zoomにより開催しました。日曜の午後にもかかわらず、東京都内のみならず、全国から140名以上の方にご参加いただきました。

講座の前半はJ-CIP委員三名より、がん登録の基本的な知識やデータの見方を紹介し、実際の東京都がん登録のデータを見ていきました。片山佳代子氏からは「がんデータのなりたち(がん登録とは?)」として、がん登録の必要性や歴史、行政や研究分野でどのように役立っているのかについて紹介しました。伊藤からは「まちのがんデータの見方」として、年齢調整罹患率などがん登録を活用したがんの記述疫学研究の基礎的な考え方のお話をしました。田淵健氏からは「東京都のがんデータを見てみよう」と

して、東京都のがんデータについて、東京都ならではの特徴を紹介しました。

参加者の方々からは「がん登録は患者自身が登録するのか?」「多重がんの考え方」「死因はわかるのか?」などがん登録に関する具体的な質問が出されました。パネルディスカッションでは臨床、相談支援、患者会活動、などにかかわる様々な立場から、希少がんの情報をもっと知りたい、など全国がん登録の活用に対する期待が寄せられました。また、地域別のデータを活用できるということで、自治体のがん検診実施状況との関連などを見てはどうか、という

具体的なアイデアも出されました。がん登録情報をわかりやすく、また地域に密着した形でのがん情報発信の重要性を改めて確認するディスカッションとなりました。公開講座の様子は、YouTubeのJ-CIPチャンネルにも公開されますので、ぜひご覧ください。

がんネットワーク東京 第1回公開講座

知りたい!私たちのまちのがんデータ～がん登録の役割

2022年7月31日(日) 14:00～16:00 @Zoom



講師: 片山佳代子(群馬大学): がんデータのなりたち(がん登録とは?)
伊藤ゆり(大阪医科薬科大学): まちのがんデータの見方
田淵健(都立駒込病院): 東京都のがんデータを見てみよう

進行: 大西啓之(NPO法人キュアサルコマ)、伊藤ゆり(大阪医科薬科大学)

パネルディスカッション: 品田雄市、渡邊清高、桜井なおみ、若尾文彦、他

がんのデータってどのように作られているの? どうやって解釈したらいいの? 実際の東京都のデータを一緒にみながら、私たちのまちのがんデータについて考えてみましょう。

参加費無料・要事前申込

主催: Japan Cancer Information Partnership (J-CIP) J-CIPとは日本がん登録協議会と全国がん
共催: がんネットワーク東京 後援: 東京都 癌研究推進基金とのパートナーシップ協定
に基づきがん種別検診を行う活動です。

<https://www.youtube.com/channel/UCSyoEaT2WyXi3FdQaxWfOaQ>

